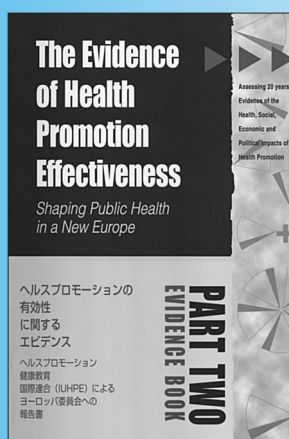


質的情報の有効性を示した 斬新な一冊

【評者】平野かよ子 国立保健医療科学院公衆衛生看護部

ヘルスプロモーションの 有効性に関するエビデンス



頒価 1,000 円、送料 310 円
158mm × 239mm、202 頁
IUHPE 西太平洋北部地域事務局
(福岡大学医学部公衆衛生学教室内)
TEL.092-801-1011(内線 3315)

本書はヨーロッパにおける公衆衛生政策の論争に対して提言を行うため、多領域からの参加を得た野心的なプロジェクトが IUPHE の財政的な支援を受け、過去 20 年間のヘルスプロモーションの有効性に関するエビデンスを集積し委員会へ報告したものである。

健康を規定する要因としては、個人の保健行動や保健医療サービス利用などの要因と、社会的・経済的・環境的な要因があるとして、これらの諸要因に対する有効性について項目を立てエビデンスを示している。しかし、何をもって「有効である」とみなすかは、政策や財政の立場、あるいは実践者の立場、受益者の立場、研究者の立場によって視点や強調点が異なることを指摘し整理している点が斬新的である。

本書は 14 章から構成されている。第 1 章に有効性を評価するのに用いられるべき指標のモデルが示され、以下の章ではこのモデルにそって、これまでの調査研究をレビューし、「健康への影響」「社会的影響」「経済的影響」「政治的影響」について政策立案者あるいは研究者の立場でエビデンスを提示している。

2 章以下は、ヨーロッパにおけるさまざまな健康問題を「政治的課題」「健康への課題」「社会的課題」「展開の場」などを切り口として章立てがなされている。

政治的課題としては、「高齢化」「精神保健」「学校離れの若者」の 3 つを取り上げ、健康への課題としては「心疾患」「タバコ・アルコール・違法薬物」を、社会的課題として「栄養」「安全管理」、展開の場としては「職場」「学校」「保健医療機関」に整理されている。政治的課題として「学校離れの若者」を取り上げ、社会的課題として事故防止を含む「安全管理」を取り上げているが、これらは今後わが国の公衆衛生の課題として取りあげるべきものであり、示唆に富むものである。

一般に介入の効果評価としては RCT(randomized controlled trials) デザインが適用されていることが推奨されるが、本書では、社会的な活動としてのヘルスプロモーションプログラムは複雑であり、量的な情報ばかりではなく、質的な情報を用いた観測的な研究も役立つことに触れ、各章で質的な指標やエビデンスが示され、質的情報の有効性が唱えられている。とくに政策評価では量的な評価指標が求められるが、本書が量および質の評価がともに重要であることの認識を高めるためのものとなることを期待したい。